

水と子供

日本大學幼稚園 山田 伸子

水は子供に思ふだけでも、此の頃の様にお暑くなります
と、心が躍る様な氣が致します。

子供の遊びの中で、凡そ倦かずにだれでも好きなものは、水遊びで御座います。

お砂のお手々を洗ひに行つては、其の儘水遊びにかはり、洗口場でも直ぐに又水遊びになつてしまひます。

お暑さに特に子供は水ほご親しいものは無いと思ひます。勢のいゝ鯉の様に、水に誘はれ、水にさからつて、ピチ／＼遊び子達のなんぞ末たのもししい美しさで御座います。

私は幼稚園に、總ての衛生設備、體育機關がほしいものと、常に思つて居るもので御座います。先年(昭和六年)其の一部として、幼児用プールを設けました。夏季に於いて、草木が生ひ繁り來年の花の仕度が、芽蒔まれると同じ様に、子供の成長も亦此の夏季に於て最も著しい發達を遂ぐることを思ひます時、充分なる鍛練と、周到なる養護とは、絶對的に必要であると思ひます。

然るに用意の不充分なる處、兎角倦怠、病因の芽蒔む時季となる事多きは、誠に遺憾のこころ存じます。此の時季こそ、規律正しく習慣づけられた起居を助長し、身體を精神を健かに伸ばし得させ度く思ひます。

斯の見地より、右プールを中心とした夏季保育施設八年間の實施狀況を申し上げて、幾分にも参考となりまうことが御座いましたら幸ひ存じます。

施設概要

一、期間 七月二十六日より八月十五日まで(三週間)。
一、プールの位置

北は西を背負ひ、かぎの手に建てられた園舎に添つて、東は南の日光を充分に受け、東南二方は、藤棚、砂場、お山を取り入れ、生垣を以て圍ひ、プールの出入は園舎の廊下より行ひ、管理を充分に容易に致しました。

一、大きさ形狀

廣さ、六二、〇〇平方米

深さ、二〇センチより、六五センチまで、底面傾斜、シ

シャワー及手洗場附設。

尋常科四、五年生までの各種泳法指導可能、幼児にも危険なし。

一、用水

水道を使用し、毎日換水す。

一、入園手續

身體検査により、傳染性疾患なきもの、百二十名を定員とし、園児を收容し、餘裕ある場合は、小學二三年生を、同じく身體検査の上入園を許可す。

一、健康診断

毎朝、園醫の來園を得て、プール入否を決す。

一、日課要項

午前七時三十分。

運動場にて、國旗掲揚式に初まり、宮城遙拜、入室の上、

第二回目の放送ラヂオ體操、訓話の後、各組毎の部屋に於て、毎朝の身體検査、

午前八時三十分

小學部、學習補導。

幼稚園、豫定の保育に入る。

午前十時半

幼稚園を主とし、小學部共、交互プール入水、

正午

教師と兒童、たのしきお晝食後、幼稚園は歸宅、小學部、

午後一時半迄、休養、(此の間、お話、午睡)。

一時半より、三時まで、プール入水、泳法練習、三時半、

おやつ、遊戯、競技、歸宅。

一、プール使用上の注意事項

入水時、耳に綿栓をなし、プール周辺にて、日光浴。上りたる時は、シャワーに必ずかかりて、よく拭き取り、腹巻をせしむ。

其の他醫師の注意勵行。

結果

一、身體上

保育の初めより、半ば頃迄は體重に於いて稍々減少を見るも、末期に至りて當初より、多大の増加を示す。

一、精神上

各自共、元氣潤達明朗となり、樂しき生活限りなく、一人として、歸家を欲せず、平素の幼稚園、學校と異り全く新世界の觀を得て、心身共に其の時を得たる成長を遂げつゝあるを思はせませす。

一、所感

毎年家庭よりの聲として、十六日からのお休み中を如何にせばと、連續を希望する状態にあることより、幼児の教

自分の仕事が見出されて行く。彼等が普通の子供の中に在る間は、彼等の頭上には重い壓迫が加へられてゐるのであつて、その重壓の下では、彼等は押しつぶされてしまふか、歪曲した人間にならざるを得ない。早い時期にその重壓を取り除き、彼等相應の活動場所を自己信心を得せしめれば、彼等に與へられた天賦のものを充分に發揮せしめることは決して不可能ではないのである。

註一、拙稿、幼稚園託児所に於て取扱ひに困る子供の調査、「教育」昭和十三年四月。

註二、奥田三郎、精神薄弱兒の教育問題

「教育」、昭和十二年三月

拙稿、特殊幼稚園の必要について

「教育」昭和十四年二月

村松常雄、異常兒童の數並びに特殊教育施設に關する一考察

「精神衛生」昭和十四年一月

大阪市教育局、大阪市に於ける學業不進兒の調査

昭和十四年二月

「附記」本稿は主として都會を中心としての考案になつたきらひがあるが、農村に於ける遲滯兒の問題についてはなほ別に考慮すべき點があると思ふ。そのことは又別の機會に考察することとし、現在の農村に對しては託児所の普及といふことが最も要望せられる點であると思ふ。

(三四頁より)

育には、夏休みの必要なくもがなご思ひます次第。適當の設備を人材を得、研究を重ね、よき結論を廣く各地に普及させ度きものご存じます。

新東亞建設の仕上を擔當すべき、第二の國民を先づ第一に、體育を庶幾ふものであります。

水ミ子供の題にて、何か執筆をこのごころでしたが種々の故障のため、ほんの短時間に、書きつゞり、前後整はず、不文體をなしません、御容赦を御願ひして筆を止めることに致します。

會 八月號休刊

本誌八月號は休刊し、九月に於て、八、九月兩月號を合冊發刊いたします。

昭和十四年七月

日本幼稚園協會